2018.3.11

岩手県ソフトテニス連盟東北総体・国体候補選手選考基準

1.予選会出場資格

（1）少年男女

ア 高校総体個人戦（ダブルス）ベスト 6 の選手（インターハイ出場選手）

イ ジュニア選抜大会（ダブルス）ベスト 4 の選手

ウ U17、U20 に選出されており、県連盟の出場推薦を受けた選手

エ 県連盟の出場推薦を受けた中学 3 年生

（2）成年男女

ア 成年男子、成年女子の予選会への出場はフリーとする。

イ 本年度、全日本シングルス大会県予選会ベスト 2、春季大会（一般男女優勝ペア）、東北選手権大会（一般男女 3 位以上）、岩手県選手権大会ベスト 8 ペアと強化指定選手は、最終選考会（ダブルスの部・シングルスの部）へ出場することができる。

2.選考方法

（1）少年男女については次により選考する。

ア 東北総体代表選手選考大会

① 2 日間で実施し、1 日目にダブルス、2 日目にシングルスを行う。

② リーグ戦を原則とするが、参加数によりリーグ戦とトーナメント戦を併用する。

③ ベンチ入り指導者によるベンチコーチは行わないものとする。

（2）成年男女については次により選考する。

ア 岩手県春季大会兼 1 次予選会

優勝ペアは最終選考会（ダブルス・シングルスの部どちらか選択）の出場権を得る。

イ 岩手県選手権大会兼 2 次予選会

第 1 位=25 点、第 2 位=20 点、第 3 位= 15 点、ベスト 8=5 点のポイントを付与する。優勝ペアは全日本選手権大会県第 1 代表とする。（ただし辞退の場合は 2 位のペアとする）

ウ 最終選考会（ダブルスの部・シングルスの部）

最終選考会への参加資格のある選手は、申込を岩手県選手権大会一般男女決勝戦終了後、30 分以内に強化委員会に本人およびペアで、シングルスの部かダブルスの部のどちらかを選択し参加費（シングルスの部 1,000 円、ダブルスの部 2,000 円）を添えて申し込むものとする。（両方への出場はできない）

① 最終選考会（ダブルスの部）

参加資格は、岩手県春季大会優勝ペア・東北選手権大会（一般男女 3 位以上）・岩手県選手権大会ベスト 8 ペア・本年度強化指定選手のうち、ダブルスの部を選択したものとする。

第 1 位=25 点、第 2 位=20 点、第 3 位=15 点、第 4 位=10 点、第 5 位（ベスト 8）= 5 点のポイントを付与する。

② 最終選考会（シングルスの部）

参加資格は、全日本シングルス大会県予選会ベスト２ ・岩手県春季大会優勝ペア・岩手県選手権大会ベスト８ペア・本年度強化指定選手のうち、シングルスの部を選択したものとする。

エ 国内主要大会（全日本シングルス選手権大会･全日本選手権大会等）で顕著な戦績を挙げ、強化委員会が推薦する選手を東北総体・国体候補選手とする。

(3) 成年男女の最終選考会の日程および試合方法

ア 最終選考会は岩手県選手権大会の翌日、午前９時より同会場にて開始する。

イ ダブルスの部は５ペアまでは１リーグ、６ペア以上は２リーグに分け上位によるトーナメント戦を行う。

ウ シングルスの部の試合方法は出場数により決定する。(リーク戦･トーナメント戦併用)

3.東北総体・国体候補選手決定について

(1) 少年男女

ア 代表選手選考会のダブルス、シングルスにおいて優勝した選手は東北総体・国体候補選手に内定とする。

イ 上記以外については、選手選考会･各種大会・強化練習会などを参考にして監督・コーチが選考して高体連ソフトテニス専門部の承認を受け、合計７名の選手を岩手県ソフトテニス連盟に上申し、会長の承認を得る。

(2) 成年男女

ア 岩手県選手権大会（兼２次予選会）と最終選考会（ダブルスの部）のポイントを合計し、上位２ペアの計４名は東北総体・国体候補選手に内定とする。

イ 最終選考会（シングルスの部）の優勝者は、東北総体・国体候補選手に内定とする。

ウ 上記以外については、強化委員長・副委員長と成年男女監督等と協議し、２名を東北総体・国体候補選手として推薦する。

エ 以上７名を当該年度の東北総体･国体候補選手として岩手県ソフトテニス連盟に上申し、会長の承認を得る。